

東京外環  
(開越道～東名高速)

2008年1月

# 外環journal

ジャーナル

第28号

(発行所) 国土交通省関東地方整備局東京外かく環状道路調査事務所

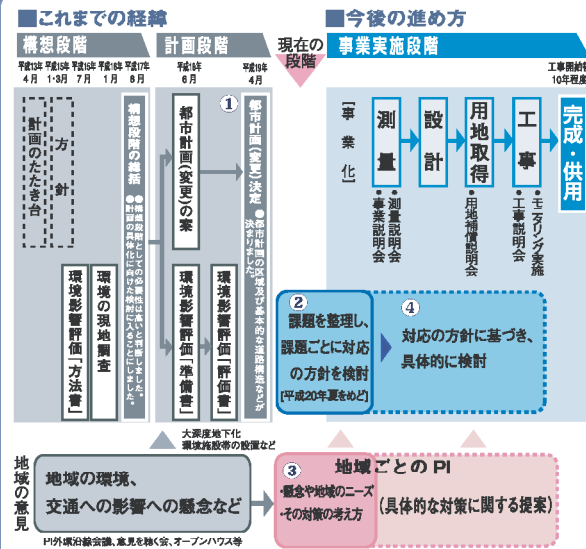
〒158-8580 東京都世田谷区用賀4-5-16 TEL&FAX 0120-34-1491 (フリーダイヤル)

TEL&FAX 0120-34-1491 (フリーダイヤル)

窓口受付時間(平日9:15～18:00)

<http://www.ktr.mlit.go.jp/gaikan/>

## 地域の課題の対応検討に住民意見を反映



検討の経緯と現在の状況は？  
地域ごとのPIの進め方については、昨年2月のPI外環沿線会議で

地域ごとのPIは、何のためにやるのですか？  
これまで地域分断や環境問題など、地域の課題に関する意見が寄せられてきました。  
地域の課題は多岐にわたるため、まず地域の課題を整理して対応の方針をまとめ、その後に対応の方針に基づき具体的な検討を行っていきます(同④)。この対応の方針を検討するにあたって、地域の皆さんの意見を考え、意見を出し合う場として、地域ごとのPIを開催するものです。

地域ごとのPI開催  
現在、地域ごとに自治会等に対し、外環の計画概要、都市計画変更案に対する区市の意見などについて説明

意見交換を行い、その後「外環ジャーナル」やホームページで広く意見を聴くとともに、有識者の方々からも意見を頂きました。昨年10月のPI外環沿線会議では、地域ごとのPIの実施について「提案」を提案しました。その案では地域の特性に応じてワークショップ形式など様々な手法を活用することや中立的な立場のファシリテーター(進行役)を活用すること、必要に応じて技術的なアドバイザー(助言役)を活用することなどを盛り込んでいます。

地域ごとのPI開催  
現在、地域ごとに自治会等に対し、外環の計画概要、都市計画変更案に対する区市の意見などについて説明

意見交換を行い、その後「外環ジャーナル」やホームページで広く意見を聴くとともに、有識者の方々からも意見を頂きました。昨年10月のPI外環沿線会議では、地域ごとのPIの実施について「提案」を提案しました。その案では地域の特性に応じてワークショップ形式など様々な手法を活用することや中立的な立場のファシリテーター(進行役)を活用すること、必要に応じて技術的なアドバイザー(助言役)を活用することなどを盛り込んでいます。

夏をめどに課題を整理  
地域ごとのPIで頂いた意見を踏まえ、今年の夏をめどに地域の課題を整理して対応の方針をまとめ、その後に対応の方針に基づき課題ごとの具体的な検討を行っていくことを考えています。

### 外環(開越道～東名高速間)とは



外環は、都心から約15kmの圏域を環状に連絡する首都圏の交通ネットワークを支える延長約85kmの道路です。計画検討の際にはPI方式を活用しており、「地域分断や騒音、振動などの影響が心配」「JCT、ICの騒音が心配な」といった意見を頂き、①大塚産地地下施設帯の設置などを計画に反映し、平成19年4月に地下方式へと都市計画が変更されました(これまでの経緯参照)。  
今後は、変更された都市計画に基づき、地域分断や環境対策などの地域の課題について、課題の整理と課題ごとの対応の方針を検討するため、地域ごとにPIを実施していきます。

なお、現在の都市計画の構造を基に算出した概算事業費は1.6兆円、費用対効果は3.44となっています。  
※PIとは、住民利用等に便を及ぼす大塚産地地下施設帯の設置など、通常利用されない間が40m程度深くなる区間は地下40m程度深くなります。  
※費用対効果とは、道路を建設する場合、建設及び管理に要する費用と、供用後40年間で非受益に及ぼす費用と、それぞれ現在価値で換算し、比較しています。

延長	約16km	構造	地下式
幅員	40～93m	道路区分	第2種第1級(自動車専用道路)
車線数	6車線	設計速度	80km/時
IC	3箇所 東八道路IC(仮称) 青梅街道IC(仮称) 目黒通りIC(仮称)	換気所	5箇所 東名JCT(仮称)付近 中央JCT(仮称)付近 2箇所 青梅街道IC(仮称)付近 大泉JCT(仮称)付近
JCT	3箇所 東名JCT(仮称) 中央JCT(仮称) 大泉JCT(仮称)		

### PI外環沿線会議



面検討に活かしていくため、同・開越道・関保区市が共同で開催するものです。  
提案された実施案では、これまで行われてきたオープンハウス形式に加え、ワークショップ形式、類似事例の現地視察を含む勉強会形式などにより、地域のニーズやまちづくりのアイデアを検討することとしています。  
この提案に対して委員から、「地域PIと全体PIの関係はどうか」「提案には地域住民の意見をどのように尊重するか」「早く実施の準備をすべき」との質問や意見が出されました。また会議では、4名の委員から賛意が表明されたことが報告されました。

PI外環沿線会議が、昨年10月4日(木)に開催されました。この日の会議では、国土交通省と東京都から、地域ごとのPIの実施に際しての案が提案されました。地域ごとのPIは、地域の皆さんの意見を外環の計画検討に活かしていくため、同・開越道・関保区市が共同で開催するものです。  
提案された実施案では、これまで行われてきたオープンハウス形式に加え、ワークショップ形式、類似事例の現地視察を含む勉強会形式などにより、地域のニーズやまちづくりのアイデアを検討することとしています。

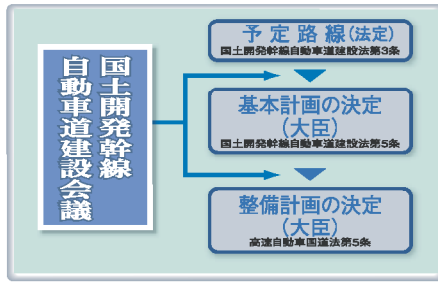
面検討に活かしていくため、同・開越道・関保区市が共同で開催するものです。  
提案された実施案では、これまで行われてきたオープンハウス形式に加え、ワークショップ形式、類似事例の現地視察を含む勉強会形式などにより、地域のニーズやまちづくりのアイデアを検討することとしています。

# 外環(関越道)東名高速間の基本計画を決定

平成19年12月25日に、ホテルオークラで第3回国土開発幹線自動車道建設会議が、議長 杉山雅洋、早稲田大学商学術院教授が開催され、東京外かく環状道路の基本計画の策定等について審議が行われました。

この会議を経て、建設線の区間、主たる経路地など、東京外かく環状道路(関越道)東名高速間に係る基本計画が決定しました。

## 高速自動車国道の整備の流れ



基本計画(案)について答弁する冬柴謙三国土交通大臣

## 基本計画で決定した内容

東京外かく環状道路(関越～東名)は、①関越道～中央道間(練馬区～三鷹市)を関越自動車道、②中央道～東名間(三鷹市～世田谷区)を中央自動車道として基本計画を策定する。

	関越自動車道(練馬区～三鷹市)	中央自動車道(三鷹市～世田谷区)
建設線の区間	三鷹市から東京都練馬区まで	三鷹市から東京都世田谷区まで
建設線の主たる経過地	武蔵野市・東京都杉並区	調布市
標準車線数	6車線	6車線
設計速度	80km/h	80km/h
道路等との主たる連結地	三鷹市付近・東京都練馬区付近	—
建設主体	国土交通大臣又は高速道路株式会社法第1条に規定する会社*	—

\*高速道路株式会社法第1条で同社の高速道路株式会社、高速道路の建設と管理を担当する会社であると定められている。

## 委員名簿

【実施機関員及び学識経験員】	【学識経験員】
文野 文明	多野 子
伊吹 小次郎	上村 楓
小谷 三郎	金子 千原
二階 俊博	原 正光
二階 吉雄	藤井 雅洋
山本 有二	福士 博之
興石 東	橋本 礼子
羽田 雄一郎	早坂 御手洗
藤井 山崎	山崎 茂

【学識経験員】 社団法人京都経済同友会常任幹事(株)JTB/Pブリッパング法人事業部長 貴船縣知事 社団法人経済同友会代表幹事 早稲田大学商学術院教授 社団法人日本自動車工業会会長 慶應義塾大学大学院法務研究科教授(株)産業経済新聞社編集局長 社団法人日本経済団体連合会会長 政策研究大学院大学教授

## 平成19年度の検討項目

- トンネル構造
  - ①泥土圧シールドの適用性及び泥水式・泥土圧シールドの施工に関する留意点の検討
  - ②分岐合流部の民間等における開発技術の技術的確認項目について
  - ③立坑(シールド発進部)施工法の合理化について
- 火災事故対策
  - ④避難環境の評価と避難口の設置間隔について
  - ⑤非常用施設の設置計画について



施工法、分岐合流部の新技術などを検討

## トンネル構造、火災事故対策を審議

国土交通省では、大深度トンネルを適用した道路計画の技術的課題について検討する「第6回大深度トンネル技術検討委員会(委員長 今田徹 東京都立大学名誉教授)」を平成19年10月26日に開催しました。

今年度の委員会では、トンネルを安全で早く、安く施工するための工法や、トンネル内で火災事故が発生した際の避難方法などについて審議します。

委員会では、泥土圧シールドの適用性について、発生土処分面で有利となる可能性のある泥土圧シールドが、近年、施工のノウハウが蓄積されたことから、従来一般的であった泥水式シールドに加え、大深度トンネルに適用可能であること、分岐合流部の新技術に関しては、民間企業等が開発を進めている新技術に設計方法や環境への影響などを議論し、今後、これらの項目を民間企業に確認していくこととしました。

## インフォメーション

# 中央環状線 [4号新宿線～5号池袋線] が12月22日(土)に開通しました!

～首都高速の渋滞が2割削減し、環境改善に貢献します～



### ご利用にあたって

- 中央環状線は都心へ集中する交通の分散が目的のため、西新宿および熊野町ジャンクションは都心方向の行き来はできません。4号新宿線、5号池袋線の中央環状線より都心側は、これまで通り都心環状線経由でご利用下さい。
- 高検出口は廃止し、西池袋出口が新たに開通しました。



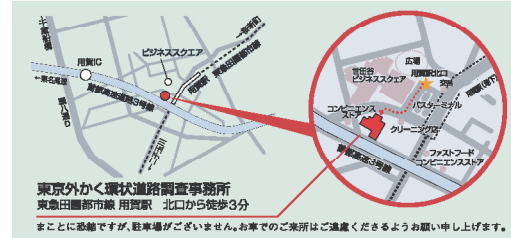
詳しくは、チラシまたはホームページでご確認ください。  
**首都高速道路株式会社**  
 計画調整G 03-3539-9393  
 ホームページ <http://www.shutoko.jp>

本号で紹介した資料や外環に関する情報をホームページでご覧になれます。

<http://www.ktr.mlit.go.jp/gaikan/>



東京外かく環状道路調査事務所へお気軽にお立ち寄りください。



国土交通省 関東地方整備局 東京外かく環状道路調査事務所  
 〒158-8580 東京都世田谷区用賀4-5-16 TEL:03-3539-9393  
 TEL&FAX: 0120-34-1491(フリーダイヤル) [平日9:15～18:00]  
 E-mail [galkan@ktr.mlit.go.jp](mailto:galkan@ktr.mlit.go.jp)

東京都 都市整備局 都市基礎部 街路計画課 外かく環状道路担当  
 〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1 東京都庁第2本庁舎22階南側  
 TEL: 03-5388-3279(直通) FAX: 03-5388-1354  
 E-mail [S0000179@section.metro.tokyo.jp](mailto:S0000179@section.metro.tokyo.jp)